



米国シアトル市の中学校での交流などについて報告した金子君と中田さん(左)＝金沢市役所で

柿木島、広坂の五商店街などで構成する金沢中心商店街まちづくり協議会と市が主催。商業関係者ら約百八十人が参加した。

## 米国の優しさ触れた

### シアトル派遣団 市長に帰国報告

十月九日から十六日、中学校を訪問していたまで米国シアトル市の金沢市大徳中学校の交

流研修派遣団は四日、市役所を訪れ、山出保市長に帰国報告した。同校は、一九九三年にシアトル市のエクスタイン中学校と姉妹校提携を結んだ。九六年から、ほぼ毎年交互に生徒の受け入れや派遣を続けている。今回は二、三年生の二十六人と、地元関係者、教員ら十二人の計三十六人が派遣された。生徒は現地でホームステイを体験したり、中学校の授業に参加したりした。生徒代表の金子瑤君(三年)は「家を訪れた時、米国の人はドアを開けて待っていた。優しさに触れることができた」と報告。中田日葵子さん(同)は「シアトルの生徒と英語で会話ができるか不安だったが、シエスタチャーや表情で楽しく話すことができた」と交流の様子を話した。(山本義久)

の人はドアを開けて待っていた。優しさに触れることができた」と報告。中田日葵子さん(同)は「シアトルの生徒と英語で会話ができるか不安だったが、シエスタチャーや表情で楽しく話すことができた」と交流の様子を話した。(山本義久)



◆完成した和紙を手に韓国出身のチャン・ユリさん(28)は「美しい和紙ができる工程にびっくり」と日本文化に興味津々。

◆金大留学生センターの「いしかわ金沢学」は4日、白山市の吉野工業の里で行われ、留學生が和紙作りに挑戦した。写真11。

◆造形和紙作家山浦定雄さんの指導で、参加者は原料のコウソに水とりのりを混ぜて紙すきを行い、紙を乾燥させて仕上げた。



5日、大阪市の京セラ  
ドーム大阪で開催される  
国際青年会議所(JCI)  
世界会議大阪大会のジャ  
パンナイトに、金沢青年  
会議所(JCI)とともに、  
ひがし茶屋街の芸妓4人  
が参加する。記念撮影や  
お座敷遊びの体験を通じ  
て、世界各国からの参加

### JCI世界会議大阪 きょうジャパンナイト

者に金沢の魅力をデピ  
ルする。  
金沢JCIは、目標とす

## 金沢JCI芸妓と茶屋文化PR

世界会議大阪大会には  
日本国内から8千人、海  
外から2千人が参加す  
る。大会で最も規模が  
大きく、人気が高いの  
が「ジャパンナイト」で、  
金沢JCIのブースは茶  
屋文化の発信をテーマと  
る。

### 15年度の誘致へ弾み

し、畳を敷き、茶屋街を  
イメージした内装とす  
る。芸妓4人とお座敷の  
太鼓遊びなどを体験でき  
るほか、180人近い同  
JCIメンバーが法被姿で  
観光パンフレットなどを  
配り、具酒造組合連合会  
の協力で地酒が振る舞わ  
れる。

台湾の  
参加で交流に意欲

馬村さん(左)と  
金沢市の歌手馬村隆さんと舞踊などの神

降社中は7日、台湾・台南真で開かれる「2010年日本フェスティバル in 台南」に参加する。4日に北國新聞社を訪れた馬村さんと社中副主宰の中村健神さん、師範の南神涼さんは「日本の伝統文化を華やかに披露して交流してきたい」と抱負を語った。

昨年が続いて出演する馬村さんは、金沢出身の八田興一技師をたまたる「嗚呼ーフォルモサ タムの父」などを歌い、初出演の同社中は「黒田節」「花乱舞」などの舞踊を繰り広げる。

馬村さんは「プロ意識を持っていい舞台を見せ、台湾の文化も吸収したい」と話し

た。訪問団の一行16人は、今年のシャパンテントに合わせて金沢市を訪れた台湾・嘉南國民小も訪問し、児童と再会する予定。

台湾訪問の抱負を語る(左から)馬村さん、中村さん、南さん

北國新聞社



### 適正な営業心がけて

外国人を不法に働かせたり、通行人に付きまとうなどして片町地区の飲食店関係者が相次いで摘発されたこと

#### 片町飲食業関係者が講習会

同連絡会の加

を受け、片町周辺飲食店等ビル防犯連絡会と社交料飲食生活衛生同業組合は4日、片町2丁目のエルビルイーストで適正営業についての

講習会Ⅱ写真Ⅱを初めて開き、飲食店経営者ら約60人が健全化を誓った。金沢中署の桜井寿夫生活安全課長が講師を務め、外国人留学生をラウンジなど難民法違反容疑で摘発されている。悪質な客引き行為をさとして風営法違反容疑で6人が摘発された。7月に8人が入管は中国人留学生を不法に働かせたとして、7人が入管難民法違反容疑で摘発されている。同連絡会の加藤弘雄会長は北陸新幹線の開業で多くの人が金沢を訪れるとし「違反がなく、誰もが安心して遊べる片町にしていきたい」と話した。



## 日中韓で資源循環考える

金沢廃棄物学会が開幕

第21回廃棄物資源循環学会研究発表会(本社後援)は4日、金沢市文化ホールなどで開幕した。日中韓の研究者や行政・企業関係者ら約900人が、資源循環や生物多様性保全について考える。

初日は日中韓の都市廃棄物管理に関する国際シンポジウムを実施。期間中、計339の研究発表が繰り広げられる。無料の一般公開プログラムもあり、5日に生物多様性に関する講演とパネル討論、最終日の6日には

金沢市内の小中学生による資源循環の取り組みの発表が行われる。



# 韓国に販売代理店

## 小松精練 東アジア市場開拓へ

小松精練(熊本市)は、韓国に販売代理店を設置した。同国で5月に開催した展示会などの効果で、現地アパレルからの引き合いが増加しているため。既に代理店を設けている欧米、中国に加え、手薄だった東アジア市場を開拓する。

4日、決算会見した運本英信社長が明らかにした。同社としては8カ国、10拠点目の代理店となる。10月に現地業者と契約した。韓国ではゴルフの競技人口が増え、スポーツ素材を中心に拡販が見込めるという。運本社長は、日本の大手スポーツアパレルが次々に現地で直営ショップを開業していることを紹介し、「人口は少ないが、しっかりとした市場がある。高付加価値素材の取引拡大につなげたい」と話した。

### 観光、漆器で中国に照準

輪島會議所 里谷会頭ら来社

輪島商工会議所の里谷光弘会頭、谷口和守大積善也、久岡政治の3副会頭ら写真が4日、就任あいさつで北國新聞社を訪れ、里谷会頭は「地元産業の柱は観光と漆器。ともに中国をターゲットにしていきたい」と語った。

中国人観光客に対応するため、同會議所が窓口となって銀聯カードを扱えるようにした。来年には、上海で漆器業の展示即売会を開き、会場で観光PR



も行う計画という。

新任の久岡副会頭は「与えられた観光分野の事業を一つ一つしっかりやりたい」と抱負を述べた。若島正夫専務理事、坂下達夫事務局長らが同行した。

# 金沢が里山研究支援組織

## 能登拠点、地元と連携へ

### 設立シンポ

金沢大は、能登半島の里山里海の保全活動や研究を支援する組織「能登オパレーターズ・ユニット」を新たに設け、四日に同大で

記念シンポジウムを開いた。同大は現在、旧校舎を活用した「能登学舎」(珠洲市)を拠点に里山の担い手の養成

講座や一般向けの自然の学校などを開いている。新組織は従来の活動

を円滑に進めるため、地元の市町や環境団体との連携を強め、実習や体験に適した里山を幹旋してもらうことなどを目的としている。

新組織の拠点となるのは能登学舎で、学内の教員や職員が担う実動部隊のディレクターら四人が、保全活動な

どの際に生じるニーズを把握しながら各市町などに協力を求める。記念シンポであいさつした中村信一学長は「能登で展開する金沢大の活動をさらに促進する第一歩になることを祈願している」と期待を寄せた。(榊原崇仁)



記念シンポジウムであいさつする中村信一学長(金沢大)

# 仏大統領「人権」は沈黙

## ビジネス優先と批判の声

【パリ＝清水俊郎】中国の胡錦濤国家主席は四日、パリ近郊の空港に到着し、三日間の日程でフランス公式訪問を開始した。滞在中、サルコジ仏大統領と二度にわたり首脳会談を行い、民生用原子炉など大型の売買契約に調印する見込みだ。サルコジ大統領はノーベル平和賞受賞が決まった中国の民主活動家、劉曉波氏らをめぐる人権問題については、あえて言及しない構えで、ビジネス優先の姿勢は野党や人権擁護団体の批判を招いている。

脳が「共通して関心を抱くテーマ」を話し合うとの声明を発表。国際の釈放を求める声が高まっている劉曉波氏の処遇など中国の人権問題は、事前に調整した議題に入っていないことを示唆した。

サルコジ大統領は二〇〇八年にチベット仏教最高指導者ダライ・ラマ十四世と会談し、中国との関係が悪化。今年四月に中国を公式訪問して「台湾もチベットも中国の一部」と発言し、関係を修復

した経緯がある。

劉曉波氏へのノーベル賞授与が発表された先月、米国のオバマ大統領やドイツのメルケル首相、日本の菅直人首相らは次々と祝辞や劉氏の釈放を求める見解を発表した。しかし、従来は人権問題などで発言では国際的に抜群の存在感を示しているサルコジ大統領はこの問題については沈黙している。

これに対し、仏野党は「人権の国フランスの名折れ」（社会党）と一斉に反発。国際ジャーナリスト団体「国境なき記者団」や人権団体「アムネスティ・インターナショナル」などは四日、パリで抗議集会を開いた。

## 中国・胡主席フランス訪問

胡主席はパリと南仏ニースに滞在。仏レゼコ紙によると、仏から中国に旅客機約百機と原子炉二基、三十億ドル(約二千四百億円)分の核燃料、携帯電話システムなどを輸出す

る契約が調印される見通し。ソウルで今月開かれる20カ国・地域(G20)首脳会合を前に国際通貨システム改革についても意見を調整する。

仏大統領府は、両首

北朝鮮首相訪中副首相と会談

【ソウル＝築山英司】

北朝鮮の朝鮮中央通信は四日、崔永林首相が中国東北部を訪問し、三日に吉林省長春市で中国の張德江副首相と会談したと報じた。

会談では、張副首相が

が崔首相の訪問を歓迎。「伝統的な中朝親善は両国の党と政府、人民の共通の財産になっている」と、強固な中朝関係を強調した。崔首相の訪中は金正日総書記の八月の訪中以来三カ月ぶり。東北三省との経済協力事業の具体化を図る狙いがあるとみられる。